

大分教育事務所訪問②-3 (計76)

## 由布市立湯布院中学校に学ぶ

### 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「主体的・対話的に学び 豊かな表現力をいかし協働の学びができる集団の育成」を達成するために、「確かな授業と学級・学年経営により、一人ひとりの生きる力を伸ばす」ことを重点目標として、「健康・安全・自主活動」「学びをつくる」「心を育てる」の3教育部と学年部を中心に取り組まれています。

今後は、多くの目標や実践が、「自ら進んで学ぶ意欲と力(脱受け身)」に向かうように、「学校として育成を目指す(教科横断的な)資質・能力」をより明確にしてみたいかがでしょうか。

※参考資料「中学校学習指導要領解説 総則編 pp.48-54 2教科等横断的な視点に立った資質・能力(例：問題発見・解決能力)」

その資質・能力を設定する際に、教職員だけでなく保護者や地域の方と熟議をすることで共通理解が図られ、手段(取組)についてはそれぞれの担当者に任せることができ、より当事者意識が高まることでしょう。さらに、生徒達にも「脱受け身」となるためには、どのような力を付けるべきか協議する場を設けることで、生徒自身が自分の目標として行動することにつながるでしょう。

### 授業から学ぶ

授業を参観した多くの学級では熱心に学びに向かう姿がありました。1年生は自然と友達どうしの学び合いが行われていたり、自由起立で音読をしたり意欲的に取り組む生徒の姿をみる事ができました。特に、3年1組英語は、課題に英語の構文に加え、ユーモアとオチを求めており、男女のペアで協力し合い、ジェスチャーを交えて楽しく自分達の思いを表現をしていました。また、岡崎先生の「～さん。今のわかりましたか?」「今の発表のどこが良かった?」等、聴く側に対する指導や評価も見事でした。正に、本校の授業改善のキーワードである「脱受け身」「つなげる」を見事に実践した授業でした。

提出された指導案には詳しい単元計画が示されていました。今後は、本単元を通して、(3つの観点において)どのような力を育成するのかを記入することで、毎時間における評価規準の意義がより明確になると思いました。



NO.345 2021年10月 由布市立湯布院中学校

## 3倍の笑顔

マスクをしているから表情がわかりにくい。だから、3倍の笑顔で友達を応援する。



NO.347 2021年10月 由布市立湯布院中学校

## つなぐ挙手

授業の流れを切らないために、自分から挙手をする。みんなのために、自分のために。



NO.346 2021年10月 由布市立湯布院中学校

## 概念化

これまで学んだことを活かし自分の意見を言う。みんなの考えから共通するところを見いだす。そして、一つの音をつくる。



NO.348 2021年10月 由布市立湯布院中学校

## 脱受け身

英語が得意な人。表現が豊かな人。ユーモアのある人。楽しい授業は私たちみんなで創る。



NO.348 2021年10月 由布市立湯布院中学校

## 自己選択

地図帳、資料集、タブレット。それぞれ、根拠をもつために必要なものだが、選ぶのは自分。